

令和8年3月24日

石巻市長 齋藤正美 殿

石巻市環境審議会
会長 根本智行



石巻市環境基本計画の令和6年度実績の点検・評価について（答申）

令和7年5月8日付け石環第36号にて諮問された石巻市環境基本計画の令和6年度実績の点検・評価について、石巻市環境審議会で慎重な協議を行った結果、下記のとおり答申します。

記

石巻市環境基本計画の45の環境指標について、複数の指標をまとめて評価することにより個別評価を行わなかった3指標及び評価しないこととした7指標を除く35指標について点検・評価を行った。その結果、「十分取り組まれている（評価5）」となった環境指標は18指標、「かなり取り組まれている（評価4）」となった環境指標は3指標であり、6割の環境指標が取組を評価できる内容であった。

一方、「あまり取り組まれていない（評価2）」となった環境指標は、自然環境・リサイクル・地球温暖化・環境教育の各分野の一つ、計4指標となっており、目標達成に向け、現状の取組を見直す必要があると思料される。

リーディング・プロジェクトについては、生物多様性地域戦略推進・ごみ減量化推進・再生可能エネルギー導入推進の各事業では、「ある程度取り組まれている（評価3）」又は「評価4」で取組が評価できる状況にあるものの、環境教育モデル形成事業では昨年同様「評価2」であまり取り組まれていない。更なる取組を期待したい。

以上、石巻市の環境は概ね基準を満たしているが、令和8年度からの新環境基本計画への移行を踏まえ、引き続き、本市の環境問題を市民・事業者全体と共有し、問題解決に向けて努められたい。